

## チェックバルブ スイング式・ボール式を選定するポイントは？

1. 呼び径を確認する : 型式により適用呼び径が異なる
2. 使用条件を確認する : 【流体名】 【濃度】 【温度】 【圧力】
3. その他条件を確認する : 【流量】 【流速】 【Cv値】



スイング式とボール式、比較して、各々のGood! ポイントをご確認ください。



スイング



ボール

15~200mm		呼び径		15~100mm
標準的		価格面		安価
大きく重い		重量/ コンパクト		軽量・コンパクト ボディがコンパクトで、 接続もソケット形が選択可能
ほぼ同等 ※15mmを除く。 圧損は、ボール式が大きくなります。		全開Cv値		ほぼ同等 ※15mmを除く。 圧損は、ボール式が大きくなります。
PTFE仕様も選択でき オールマイティー (特にポンプまわりで大活躍)		用途		ポンプ出口の様に 乱流が起こりやすい場所での 使用には不向き

▶ [スイングチェックバルブの製品情報へ](#)

▶ [ボールチェックバルブの製品情報へ](#)

## その他チェックバルブ使用時に留意いただきたいこと

水平配管、垂直配管(流れ方向が下から上方向)のどちらでも使用可能です。流れ方向を合わせて配管してください。  
 チェックバルブは一定以上の背圧がないと逆止効果が得られません。(完全シールには0.02~0.07Mpaの背圧が必要です)  
 チェックバルブは異物やスラリーなどの混入があると逆止効果が得られません。

配管設備の選定にお悩みの際は、  
 お問い合わせください！ 旭有機材の営業員が  
 適切なバルブ選定をお手伝いします！

▶ [旭有機材へお問い合わせ](#)